

# XBRL概要

---

坂上 学

大阪市立大学・大学院経営学研究科・助教授  
XBRL Japan 教育委員会・委員長



# XBRLとは何か？

---

- XBRL (eXtensible Business Reporting Language) とは、
- 財務情報の作成・流通・利用が容易となるように、
- XML (Extensible Markup Language) を用いて標準化された、
- 財務報告・事業報告用のコンピュータ言語であり、
- オープン・スタンダードかつ無料で利用できる。



# 財務情報の作成・流通・利用の促進

- さまざまな形式に変換が可能で、
- 多言語対応なので、たとえば英文財務諸表が簡単に作成でき、
- インターネットを通じたデータ交換がしやすく、
- 財務諸表の中から必要なデータのみを簡単に抽出することができる。



# XMLによる標準化

---

- XBRL等の応用言語を記述するためのメタ言語であり、
- データに意味と構造を持たせることが可能で、
- 拡張性が高く、
- 他のXML標準(XML署名etc.)と組み合わせることが可能で、
- 特定のプラットフォームに依存せず、
- データ交換の標準形式としての地位を確立している。



# XBRLの簡単な歩み(1)

- **1998**
  - 12月、XBRLの父、チャールズ・ホフマン氏が、XMLを使った財務報告用言語のプロトタイプが完成する。
- **1999**
  - 1月、アメリカ公認会計士協会が、財務報告用言語XFRMLの開発に着手。
  - 8月、XFRML運営委員会が発足。
- **2000**
  - 4月、名称がXBRLに変更される。
  - 7月、最初のXBRL Specification 1.0が公表される。
- **2001**
  - 2月、第1回XBRL国際会議がロンドンで開催される。
  - 4月、XBRL Japanが発足。
  - 12月、Specification 2.0が勧告となる。
- **2002**
  - 11月、国税庁が電子申告システムへのXBRL採用を表明。
  - 11月、第6回XBRL国際会議が東京で開催される。



# XBRLの簡単な歩み(2)

- **2003**

- 4月、東京証券取引所のTDnetにXBRLが採用される。
- 12月、XBRL Spec. 2.1が勧告となる。

- **2004**

- 2月、XBRLを採用した国税庁の電子申告システムが稼働を始める。
- 3月、IASBのKurt Ramin氏がXBRL International会長に選出される。
- 6月、金融庁が、EDINETの多言語対応強化のため、XBRL導入について言及する。

- **2005**

- 4月、米国SECによるXBRL Voluntary Filing Programが始まる。
- 7月、XBRL Spec. 2.1がJIS規格化(JIS X 7206:2005)される。
- 11月、第12回XBRL国際会議が東京で開催される。

- **2006**

- 2月、日本銀行が、XBRLによるデータ授受システムの本格稼働を始める。
- 4月、東京証券取引所が、決算短信XBRLデータの試験公開を始める。



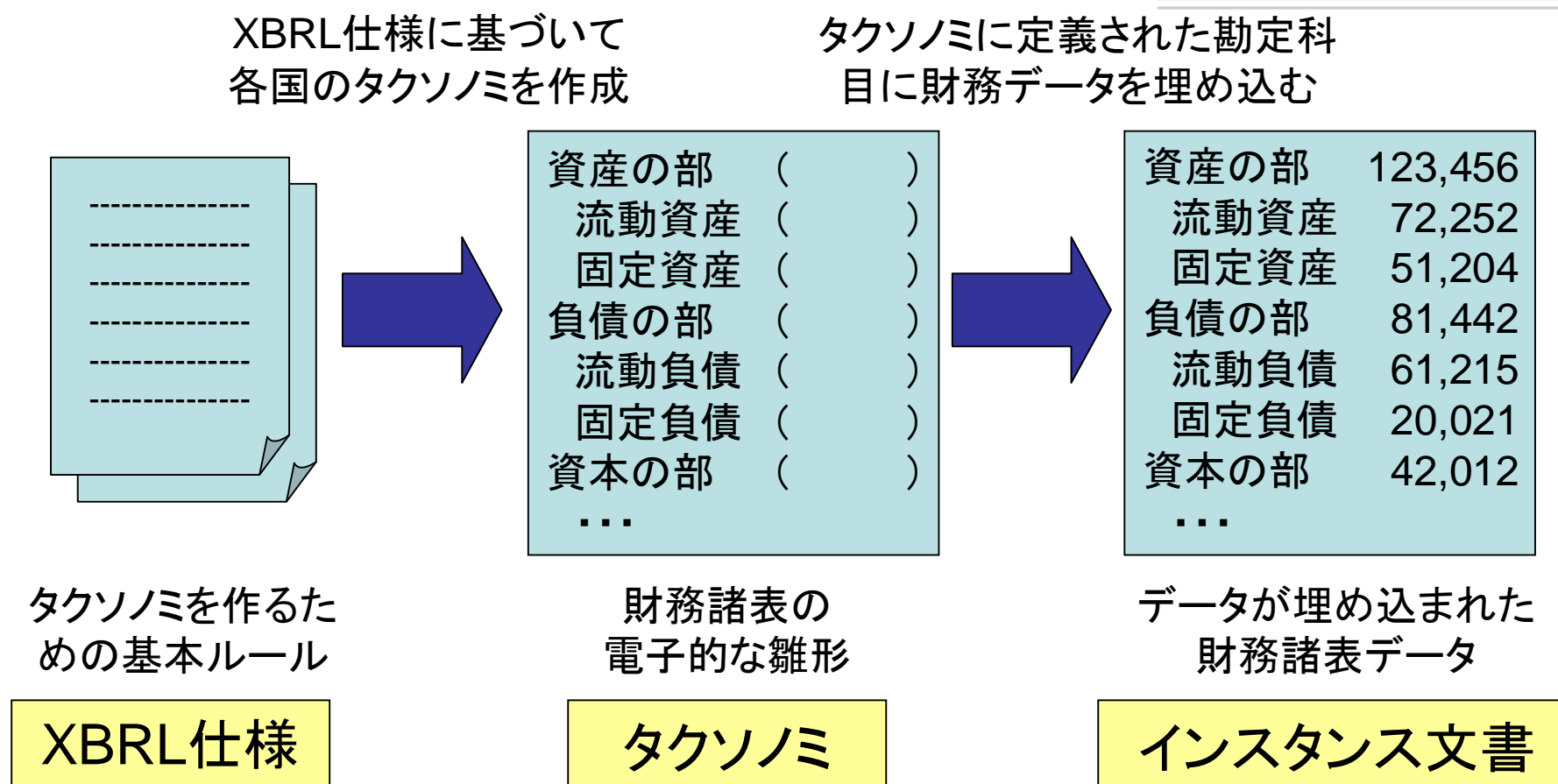
# XBRLの基礎概念

---

- **XBRL仕様 (XBRL Specification)**  
タクソノミを作成するための規約を定めた世界共通のルール
- **タクソノミ (Taxonomy)**  
各国の会計基準に合わせて作成された財務諸表の電子的な雛形
- **インスタンス文書 (Instance Documents)**  
雛形に実際の数値が埋め込まれた財務諸表データ

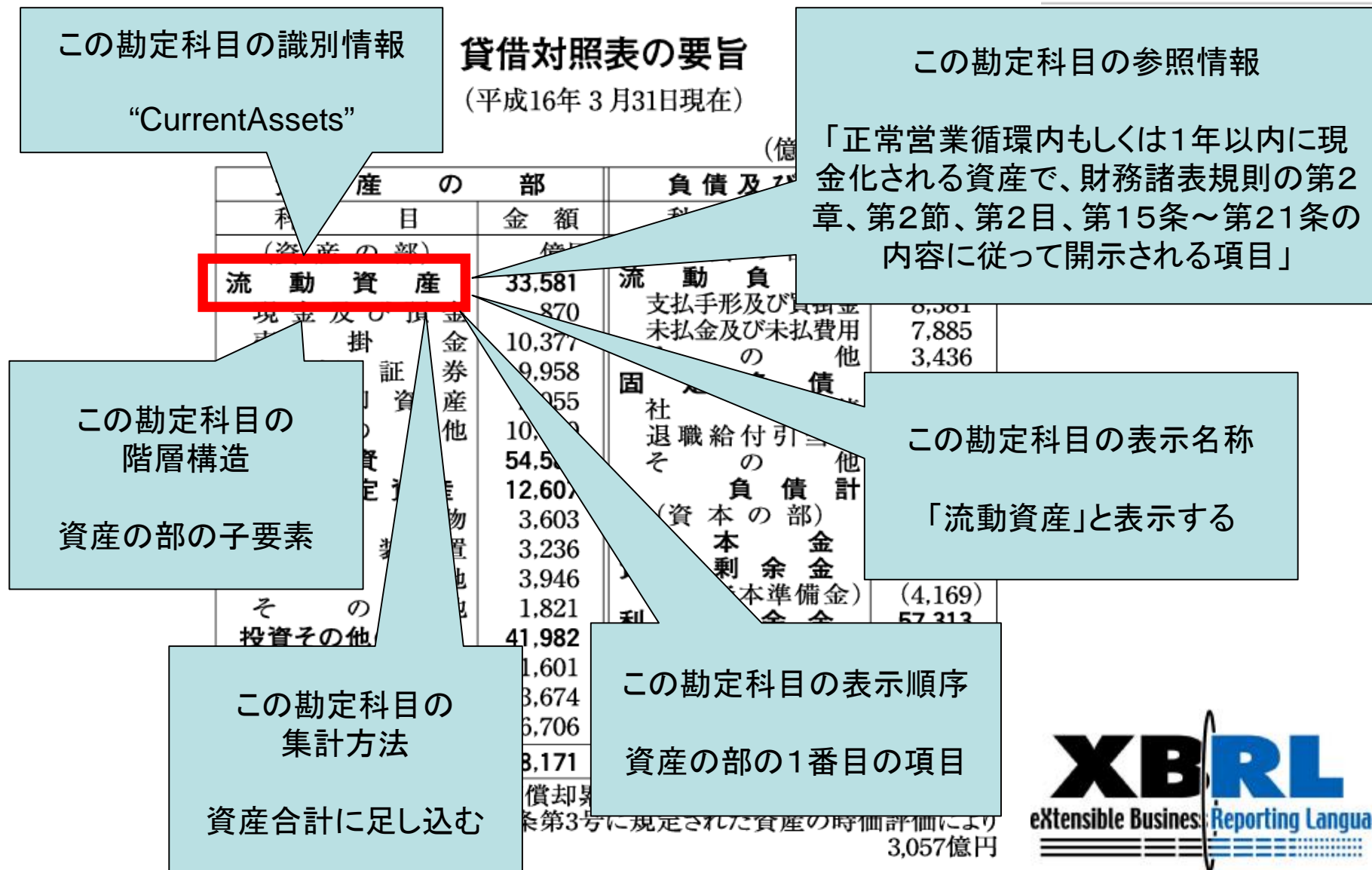


# XBRLの基礎概念の関係

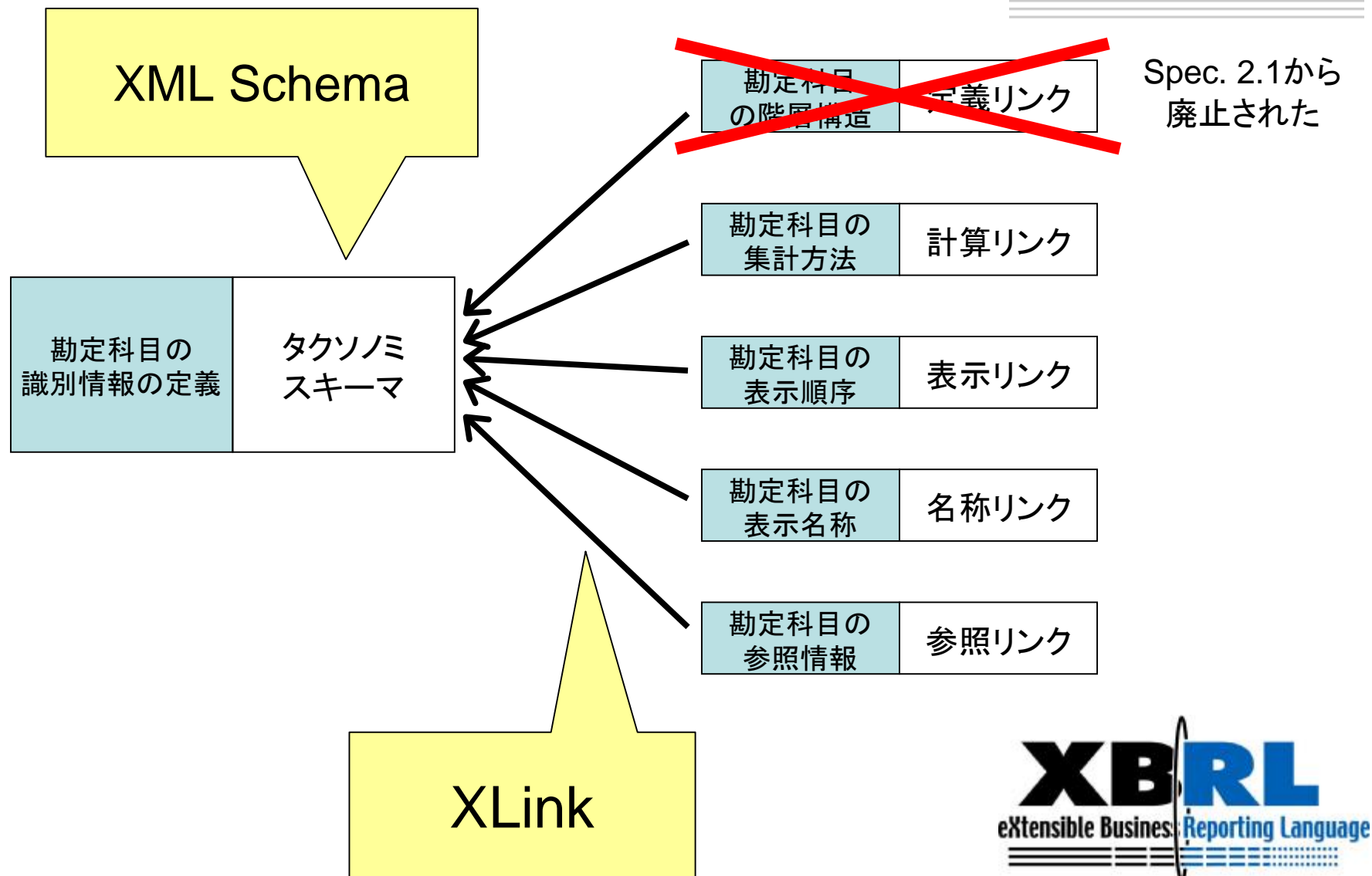




# タクソノミに記述されている情報



# タクソノミの構造



# インスタンス文書に記述されている情報

この項目を識別する情報

“CurrentAssets”

## 貸借対照表の要旨

(平成16年 3 月31日現在)

(億円未満切り捨て)

資 産 の 部		負 債 及 び 資 本 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
(資 産 の 部)	億円	(負 債 の 部)	億円
<b>流 動 資 産</b>	<b>33,581</b>	流 動 負 債	19,704
現金及び預金	870	支払手形及び買掛金	8,381
売掛金	10,377	支払金及び未払費用	7,885
有価証券	9,958	そ の 他	
たな卸資産	2,055	固 定 負 債	
そ の 他	10,319	社 会 保 険 給 付 引 当	
固 定 資 産	54,589	そ の 他	
有形固定資産	12,607	負 債	
建物	3,603	(資 本 の 部)	
機械装置	3,236	資 本 金	3,970
土地	3,946	資 本 剰 余 金	4,169
そ の 他	1,821	(うち資本準備金)	(4,169)
投資その他の資産	41,982	利 益 剰 余 金	57,313
投資有価証券	21,601	(うち利益準備金)	(994)
子会社株式・出資金	13,674	そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	3,057
そ の 他	6,706	自 己 株 式	△8,664
		資 本 計	59,846
合 計	88,171	合 計	88,171

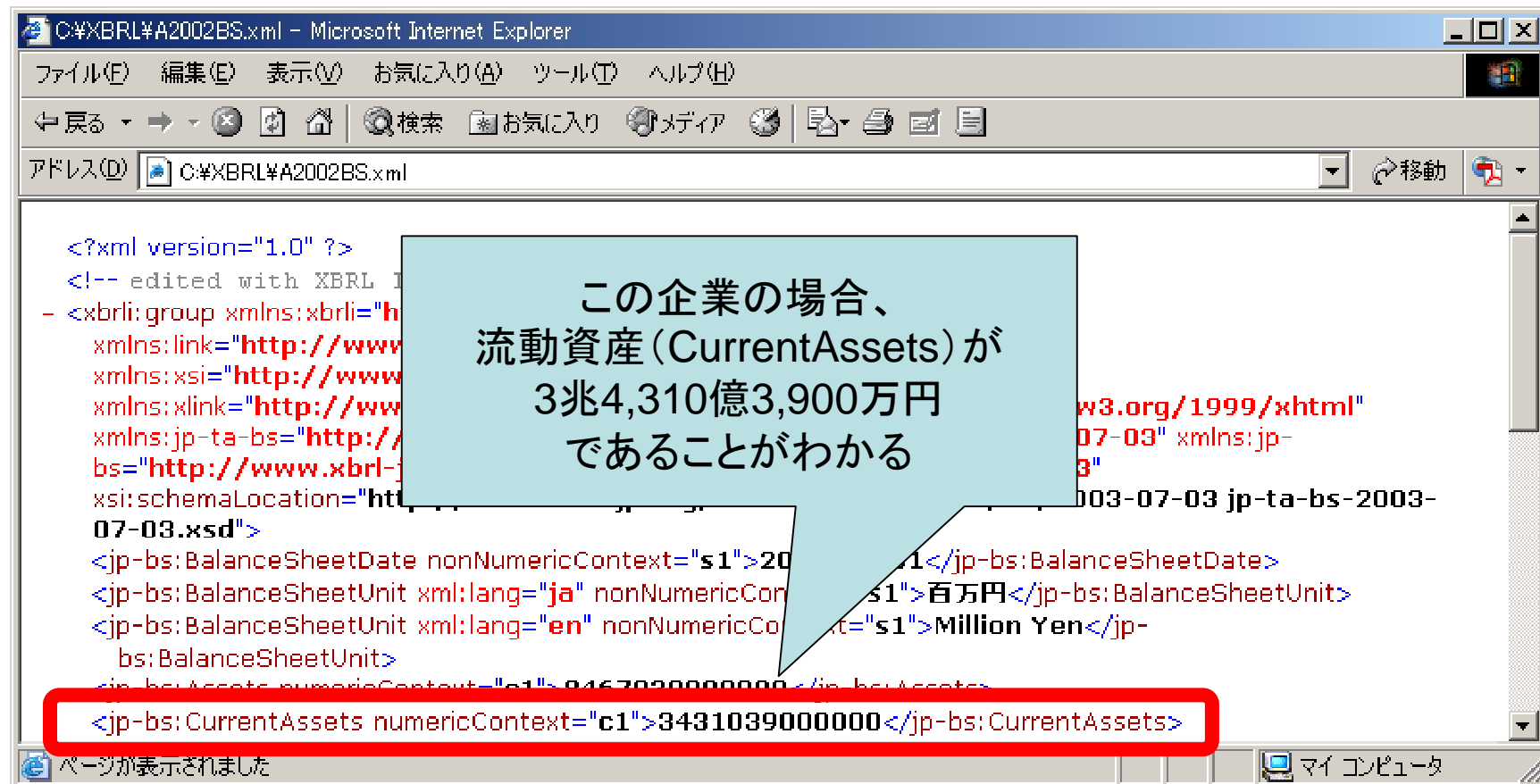
この項目の金額

33,581億円

(注) 1. 有形固定資産の減価償却累計額 34,477億円  
 2. 商法施行規則第124条第3号に規定された資産の時価評価により増加した純資産額 3,057億円



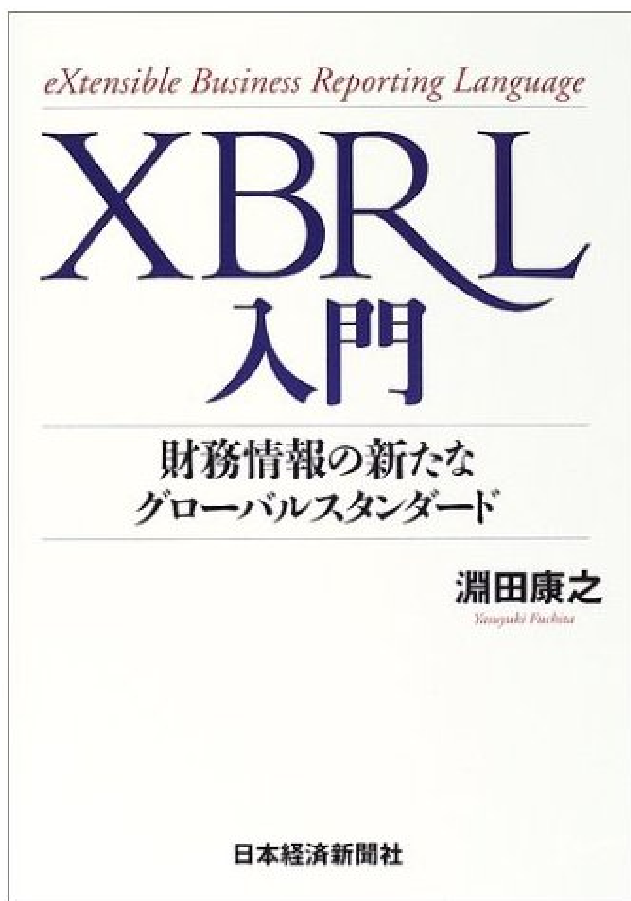
# インスタンス文書の実例



インスタンス文書の中で「流動資産」は  
どのように記述されているかというと...



# XBRLを知るための文献(1)



- 淵田 康之(2003)『XBRL入門—財務情報の新たなグローバルスタンダード—』日本経済新聞社.  
(ISBN: 4532310911)

XBRLの基礎、メリット、動向などを網羅的に扱っており、XBRLの全体像を手早く理解するのに最適の一冊。



## XBRLを知るための文献(2)



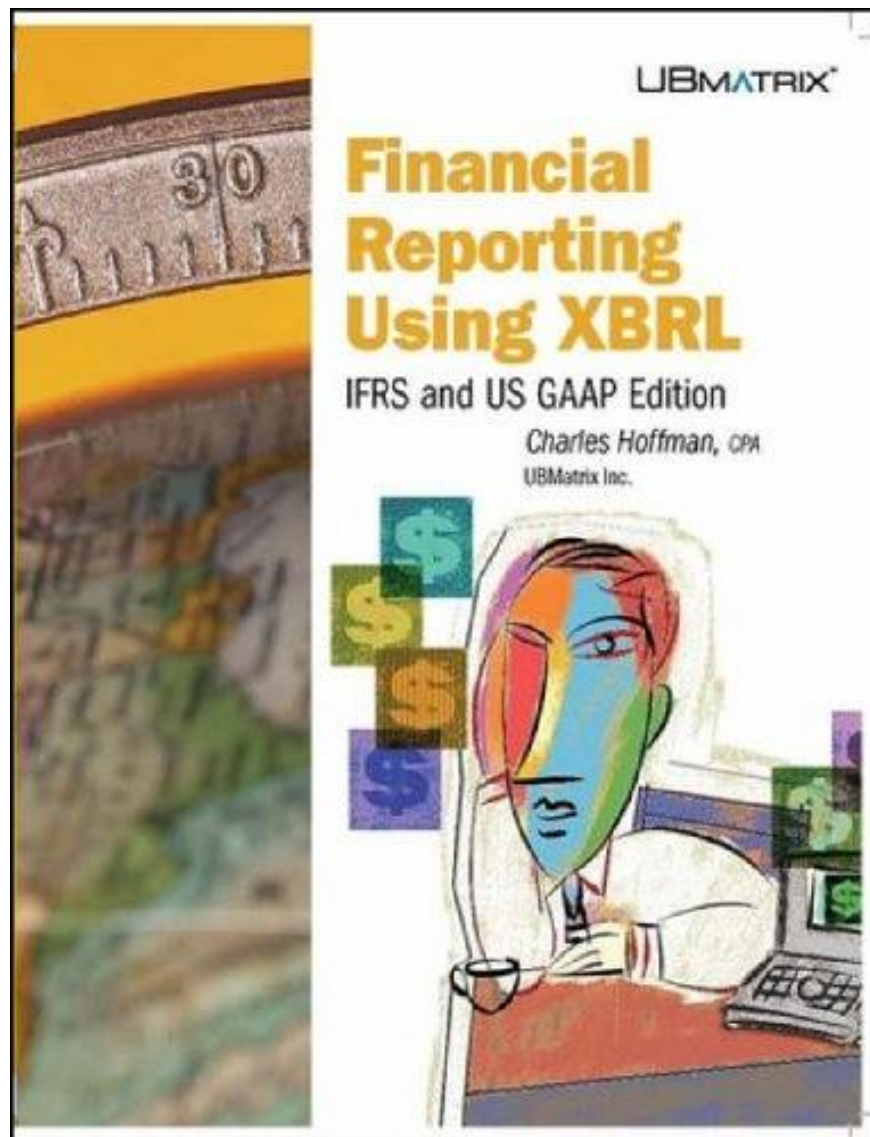
- XBRL Japan監修、坂上学・白田佳子編(2003)『XBRLによる財務諸表作成マニュアル』日本経済新聞社. (ISBN: 4532311039)

XBRLの意義、メリットなどの概要だけでなく、XBRLの技術(Spec. 2.0)について扱ったものとしては唯一の解説書。付属CD-ROMのツールを使えば、XBRLのメリットを体験することができる。





## XBRLを知るための文献(3)



- Charles Hoffman (2006),  
*Financial Reporting Using XBRL:  
IFRS and US GAAP Edition*,  
Lulu.com (ISBN:1411679792)

XBRLの父、チャールズ・ホフマン氏による最新のXBRL解説書。Spec. 2.1および最新のIFRSやUS GAAPタクソノミが解説されている。



# XBRLの情報源



XBRL Japan のWebサイト (<http://www.xbrl-jp.org/>)





# XBRLの実際(XBRL Tool によるデモ)

- インスタンス文書の読み込み(日本語表示)
- インスタンス文書の読み込み(英語表示)
- HTML形式への変換  
(決算公告用データの作成)
- 複数企業にわたる串刺し計算の実例  
(SAF2002による倒産余地分析)
- XBRLツールを利用したインスタンス文書の作成



# XBRL概要

---

終わり

